



第11回 遠軽IC道の駅検討協議会 議事概要

平成29年6月1日(木) 午後1:30

遠軽町役場 3階 大会議室

1. 開会

● 佐々木町長挨拶

- ・瀬戸瀬ICが開通して、1日約4000台が通過しており、20%ほど交通量が増加した。石北峠周りの人たちが、利用してくれるようになったことは喜ばしいが、逆に丸瀬布の店舗の売上が低下している。交通安全の観点からみると、丸瀬布は死亡事故ゼロが続いていたが、ICが開通した当時から事故が多発した。今回、交通量が減少したことで事故の数も減っていくと思ったが、話を聞くと、横断歩道のない道路を横断するご高齢の方が増えているとのことであり、その点についても注意が必要になるかと思う。
- ・経済・医療の面を考えると、北見・網走まで早く道路を延ばさなければならないと思うが、プラスの面とマイナスの面が出てくる。マイナスの面はある中で、先に進んでいかなければならない。また、道路が開通する度に、JRが利用されなくなるのではないかという話になるが、石北線を抱える町としては、JRは存続させなければいけない。医療の面からも、道路は道路でしっかりしなければ、助かる命も助からないことや、残らなくてもよい後遺症が残ってしまう可能性がある。JRの問題については、存続の突破口をみつけて、道路もJRもこの地域に残るように最大限の努力をしているところであり、道の駅の見方としてご理解願いたい。
- ・遠軽の食（料理や物産）などで、若い人なども含め動きが出てきているとのことであり、これからどんどんそういった動きが出てくれば良いと思う。

2. 話題

(1) 報告

● 前回協議会の結果について 【参考資料1】

(事務局説明)

- ・第10回検討協議会においては、実施設計図面や管理運営方針のまとめについて提案し、承認を得た。また、主に駅長候補者の募集や指定管理者の選定について、スケジュールについての意見をいただいた。その他の詳細についてはお目通しいただきたい。

(2) 議題

● 遠軽IC道の駅整備スケジュール(案)について 【資料1】

(事務局説明)

- ・全体スケジュールについては、平成32年度までの整備スケジュールを記載している。第9回に示したスケジュールからは、駅長と指定管理者の部分を更新した。
- ・駅長については、駅長候補者を公募することとし、書類審査・面接審査を経て9月頃に内定を出し、任用開始日は内定者と別途協議する方向としている。



- ・指定管理者については、非公募による選定を前提としながら、平成29年度中に何らかの形で内定及び公表を行えるように、選定委員会等を開催しながら協議を進めていく予定である。また、指定管理者の正式な議決から協定は、遅くとも平成30年度末から平成31年度当初頃までには行うようなスケジュールを想定している。
- ・平成29年度道の駅整備のスケジュール（案）については、委託と工事、指定管理と駅長、検討協議会、考える会等のそれぞれの動きを記載している。
- ・委託・工事については、平成29年度は大型車庫の建設工事とそれに伴う外構整備工事を予定している。
- ・駅長候補者と指定管理者については、先ほど説明したとおりである。その中で、検討協議会を随時開催していくこととして、6月、9月、11月、2月頃を想定した中で、部会を進めながらその都度、重要な案件について提案・確認していくような流れを考えている。
- ・考える会については、それぞれ年度内に2～3回程度開催を予定しており、各部会メンバーの参集を図った中で、会議や視察見学等を行う予定である。
- ・産業・食部会については、6月～8月にかけて部会の開催及び富良野市の「フラノマルシェ」への視察研修を計画している。12月からフードコートのテナントの募集を開始する予定であり、基本ルールを策定した中で、出店希望者を対象とした講習会の開催に伴うフードコーディネーターの招へいや、募集にあたっての説明会の実施を予定している。
- ・体験部会については、ロックバレースキー場のリフトの老朽化に伴う更新工事に向けて、平成30年度に実施設計を行う予定であるため、それに向けてリフトの利用に絡めた体験プログラムについての検討を早急に進める必要があり、6月～9月頃までに集中的に、現場でのシミュレーションや体験プログラムの視察等をしながら、検討を進めることとしている。
- ・情報発信部会については、5月、7月、10月頃の開催を予定しており、「遠軽、オホーツク」の観光情報を中心に、道路情報や防災情報など、準備段階から実際の管理運営を含めた中で、各組織や機関と連携を図りながら、情報提供のレベルと範囲、方法などの検討を行うということで、今年度から具体的な協議を進めていくこととしており、5月19日に第1回目を開催したところである。
- ・駅長候補者募集・選考に係るスケジュール（案）については、9月頃の内定として、任用開始日は内定者と別途協議する方針とし、4月～5月にかけて要項策定準備から、本日、募集要項について承認を得た後に要項を策定する。また、6月末から7月末頃にかけての約1か月間を募集期間ということで見込んでいる。
- ・内定時期を9月頃とすることで、前職の整理や事前の打合せ、引越などの準備期間を十分に確保できるとともに、任用開始日についても内定者と別途協議することで、退職者や第2の人生をスタートさせたい方に、心機一転、無理のない状態で来ていただくことができるものと考えている。については、内定後すぐにも受け入れられる態勢づくりや、予算措置を含めて、早急に準備を進めたい。
- ・駅長候補者の選考方法等については、1次選考から2次選考の流れと方法についてまとめている。町HPや広報誌、道の駅連絡会のHP、ハローワークなどで募集を行い、書類審査と論文審査ということで1次選考は事務局で最大で5名程度に絞り込む予定をしている。1次合格者に対して合格通知を



し、8月～9月にかけて個人面接の実施を予定している。面接の選考者は事務局に加えて、遠軽町長・商工会議所会頭・観光協会長とすることが望ましいと考えており、面接会場は、道内在住者は遠軽町内で、道外在住者は道外で1か所、2日間、応募者の居住地も踏まえての開催を想定している。

(委員)

・ 駅長候補者の募集方法については、個人単位ですぐに情報が拡散するので、フェイスブックも利用してほしい。

(座長)

・ あらゆる媒体を活用して周知しなければ、気持ちのある人が応募してこない。他にも良い方法があれば、事務局に伝えてほしい。

(委員)

・ 面接の際は、商工会も選考者に含めた方が良いのではないか。

(事務局)

・ そのように進めていきたい。

● 遠軽IC道の駅長候補者募集要項(案)について【資料2】

(事務局説明)

- ・ 駅長候補者には、これまで培った経験やスキルを活かして、開業に向けた各種準備と、開業後は駅長として施設全体のマネジメントを担ってもらうことを前提とした中での募集要項(案)である。
- ・ 募集要項(案)の内容は、趣旨、募集職種、業務内容、勤務条件、応募資格、応募方法、選考方法、その他の項目に区分されており、それぞれの概要について説明する。
- ・ 駅長候補者の任用にあたっては、早い段階で身分を含めて整理することとし、駅長候補者の内定までに確定させる予定である。報酬や勤務日・時間等の勤務条件については、内定者の前職との比較をした中で、別途協議する。募集要項の内容を総括すると、①いち早く募集をすること→②有力な応募者がいれば面接を行い9月中に内定を出すこと→③内定者と協議をし、年度内の早い段階での任用を目指すことが一連の流れとなり、有力な応募者がいない場合については、7月末の募集終了の時点で、個別での声掛けを含めて対応が必要となるため、別途検討を進める。

(座長)

・ 指定管理者が決まっていれば、報酬額などがはっきり出せるが、現状では決まっていないためこういった記載になっている。

(委員)

・ 報酬月額が職歴により変動ということで35～50万円となっているが、応募資格を満たしている人が複数いる場合、何を基準にそれぞれの報酬月額を決めるのか。ポイントなどは考えているのか。

(座長)

・ 30万円と金額を決めてしまったら応募しない人もいる。実績やキャリアをみて、そういった能力があるのであれば、50万円にもなるということで、そのために幅を持たせている。例えば、実際に道



の駅長としてバリバリ働いている人で、報酬が500万だという人をそれ以下の金額にはできない。

(委員)

・配偶者の有無や同一世帯の子どもの人数で、考慮するという文言などもあれば良いのではないかな。

(座長)

・あくまでも案なので、これで決定というわけではなく、状況に応じていきたい。

(委員)

・年齢制限はないのか。

(事務局)

・年齢制限はないが、応募資格で実務経験を概ね10年以上としているので、実質30歳以上の方になるかと思う。上限も、駅長として10年以上勤務できることが可能な方としているので、線引きはできないが含みを持たせた記載にしている。

(委員)

・パソコンの能力については、必須ではないのではないかな。旗振り役として駅長がいて、アシスタントとなるスタッフが実際に操作を行えば良いと思う。アシスタントをつけるために、30万円予算を準備するなど幅を持たせた方が良いのではないかな。

(座長)

・スタッフは、指定管理者側でもつくのでそちらで対応できる部分もあるが、そういった能力があることが望ましいという部分である。

(委員)

・小論文の用紙は、パソコン上で入力出来るか。

(事務局)

・直接入力出来るフォーマットになっている。手書きも可能である。

● 遠軽IC道の駅管理運営方針のまとめ(案)について 【資料3】

(事務局説明)

・第10回検討協議会の際に提案したものからの変更点として、3. 管理運営組織体制の考え (3) 駅長等候補者の任用と (4) 指定管理者の選定を追加している。

● 遠軽IC道の駅を考える会の経過について 【資料4】

(事務局説明)

・第10回検討協議会(平成29年3月29日)以降の経過について報告するものである。

【産業食部会】

・第4回を6月に開催予定である。

・出店・出品にあたっての基本ルールについて、共益費の根拠を精査したものを提案する。

・メインターゲットの設定や体験部会の方向性について説明し、産業・食部会としての詳細な検討を進める。



- ・テナントの募集を含めた、詳細なスケジュールを提案する。
- ・先進地（フラノマルシェ）への視察、フードコーディネーターの招へいを含めて調整を図る。

【体験部会】

- ・第3回を6月に開催予定である。
- ・体験プログラムに係る情報（集客人数・収支）を精査した資料を提案し、選定に向けた具体的な協議を行う。
- ・ロックバレースキー場を視察し、各種体験プログラムを導入した場合を想定しながら検討を進める。

【情報発信部会】

- ・5月に第1回を開催した。
- ・各年度の各種スケジュールを提案した。
- ・部会の役割や効果、危険性及び主な情報発信ツールについて確認した。
- ・事務局を中心に産業・食部会及び体験部会と並行して、随時開催していくこととした。
- ・平成30年度からは、駅長等候補者が中心となって、準備から管理運営に向けた具体的な検討を進める。
- ・第2回は7月に開催予定である。
- ・情報提供レベルと範囲、方法について具体的な協議を行う。
- ・オホーツクの玄関口としての役割について検討を行う。
- ・平成30年度の予算編成に向けて、各種取組の方向性の協議を行う。

（委員）

- ・情報発信部会は具体的にどう情報を発信していくかは、これから検討するのか。

（事務局）

- ・具体的にはこれから協議していく。また、広報やパンフレットなども活用するが、フェイスブックなど様々なSNSの特性を見ながら、どう活用していくか検討中である。

（委員）

- ・お金は掛かるが重要な部分なので、情報発信のプロを活用していくことも検討が必要ではないか。

（事務局）

- ・関係機関の頭出しをした中で、どこと連携してやっていくかも、これから詰めていく予定である。

3. 閉会

● その他

（座長）

- ・私事であるが、昨年11月に観光協会長から商工会議所会頭となり、引き続き当検討協議会の座長を務めてきたところであるが、次の検討協議会より観光協会の遠藤会長に座長を引き継ぐこととした。今後とも委員として協力していくので、よろしくお願いいたします。